

日常の小さな行為の積み重ねを大事に

こんなことを聞いたことがあります。

「1番はある一人だけ、一団体だけが達し得るのに対し、一流とは、すべての者が努力次第でいたり得るものである。」「一流とはその人の心のありよう、行為が一流であるということであり、そのためには、日常の小さな行為を、ここぞという時にいい加減にしてはならない。みんなの小さな一流たる姿が積み重なって、所属する団体（例えばこのクラスもあのクラスも、あの学校もこの学校も）一流たり得るのである。」



6月の体育祭で子どもたちは、すばらしい姿を見せてくれました。これも、生徒一人ひとりの自覚と努力、そして見守り支援・応援して下さる保護者・地域の皆様のお陰と感謝しております。

今年の体育祭のスローガンは「完全燃焼～燃え尽きるまで～」でした。昼休みも練習して蓄えた力や、声を掛け合い、気持ちを合わせようとする思いを出し切った姿。競技や係の仕事に打ち込む姿。立ち歩かずに決まった場所で声援を送る姿。また、なかまへの励ましや心配りをする姿がありました。「練習量のすごさ」「応援」「クラスの絆や団結」「ルールを守る」では負けないぞという、「賞状のない第1位」をめざす姿が、そこかしこに見られたと思います。

そんな気持ちや行為の積み重ねが、すばらしい学級・学校を創ります。「おはよう」「ありがとう」のあいさつでも、相手より先に、顔を見て、大きな声で、笑顔でと、一流への道があります。生徒会を中心に、自分たちで北中学校をよくしていこうという気持ちを、行動に移せるようになってきたこと・・・これはすごいことです。体育祭でつかんだ「自分たちが誇れるもの」を、今後の学校生活に生かしていく、そんな子どもたちの成長を願ってやみません。

私たち教職員一同も、「学校に行くことが楽しい」「みんなで何かをすることは楽しい」「もっと学びたい」と、すべての子どもが思えるような学校づくりに、全力を尽くして参ります。今後とも温かいご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。